

多可町

「岩座神の棚田」の景観を保全・活用する 「岩座神棚田の里づくり委員会」

活動分野	自然景観保全	
団体名称	岩座神棚田の里づくり委員会	
代表者名	木原 正己	
事務局 連絡先	所在地	—
	TEL/FAX	—
	Email	—
	URL	—
設立年月	平成 14 (2002) 年 1 月 1 日	
主な活動地	多可町加美区岩座神	



岩座神は、多田川の上流部に位置する自然に恵まれた集落です。千ヶ峰への登山口としても親しまれていますが、多くの人々を惹きつけてやまないのが、山間の斜面に広がる棚田の風景です。

岩座神の棚田は、「日本の棚田百選」（農林水産省）や「私の好きな兵庫の風景 100 選」（兵庫県）にも選ばれ、平成 9 年度には、「棚田オーナー制度」を県内で最初にスタートしました。

この美しい田園風景を保全するため、平成 11 年、農村景観では初の事例として、県の条例に基づく「景観形成地区」の指定を受けたことを契機に、まちづくりを考える会として、当委員会を発足しました。

平成 14 年 1 月 1 日、地区内において、建物の建築、改造の場合には、農村景観に配慮した構造、色、形とすることを申し合わせた、住民協定「岩座神棚田の里づくり協定」を締結し、景観の保全と活用を図っています。

- 活動目的：岩座神地区における「棚田」や里を形成する建物等の修景を住民協定による保全と活用を図る
- 活動内容：棚田の保全、棚田オーナー制度、クラインガルテン維持管理

出典：兵庫県 HP 「第 4 回人間サイズのまちづくり賞受賞者一覧」

活動の新規参加	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否
新規参加の条件	クラインガルテンに入居又は棚田のオーナーになること
関連深い景観資源や 景観づくり活動	—

多可町

何げない農村風景を永遠に守り続ける 「箸荷むらづくり委員会」

活動分野	自然景観保全	
団体名称	箸荷むらづくり委員会	
代表者名	萬浪 和俊	
事務局 連絡先	所在地	—
	TEL/FAX	—
	Email	—
	URL	—
設立年月	平成12（2000）年12月1日	
主な活動地	多可町加美区箸荷	



箸荷をもっと住みよくし、みんなが誇りをもって住み続けることができるようにしようと、むらづくり委員会を組織し、むら芝居の復活、集落新聞の発行、村落史誌の発行、花いっぱい運動の推進などに取り組んできました。

私たちはむらづくり活動の拠点となる「箸荷むらづくり館」をベースにして、花いっぱい運動、景観保全活動、地区内の清掃活動、草刈り、紅茶づくり、むら芝居の公演、全国むら芝居サミットへの参加など、みんなで力を合わせてむらづくりを進めています。

- 設立目的：みんなで住みよい村をつくろう
力を合わせてむらづくりを進めよう
日本一の村をつくろう
箸荷地区から情報発信しよう
- 活動目的：箸荷地区における魅力ある里を形成する建物等の修景を住民協定による保全と活用を図る
- 活動内容：建物の景観保全、空き地の緑化、地域にある各種団体(自治会、老人会、婦人会、子ども会、消防団、紅茶の会、むら芝居保存会)と連携して地域の活用を図る

出典：農林水産省 HP「美の里づくり総合サイト」、兵庫県 HP「さわやかトーク北播磨」

活動の新規参加	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否
新規参加の条件	月1回の例会に参加できること
関連深い景観資源や 景観づくり活動	—